

令和6年度 学校教育自己診断の分析・考察

◎学習指導等

- ・(教員)「授業力向上のため、研究授業や生徒アンケート等による工夫・改善に努めている」 90%
昨年度 75%よりも大幅に上昇している。今年度初めて、授業見学週間に学年ごとに午前中授業の日を設けた。これにより、午後の時間に教員同士が授業を見学しやすい環境を作った。また、授業見学の際に、見学者は「見たいポイント」を明確にしたうえで授業見学をするようにした。これらの工夫が今回の数値に現れた。
- ・(教員)「生徒 1 人 1 台端末を活用した授業を行った」84%
目標の 85%以上に対して、1ポイント足りない。他校での具体的な実践例を参考にし、教員間での情報共有を行い、活用促進を図りたいと考えている。

◎生徒指導等

- ・(生徒)「自分の希望した進路に満足している」94%
目標の「90%台を維持する」に対して十分達成できている。進路指導部および学年の先生方の生徒に寄り添う指導が生徒の満足度につながっている。
- ・(生徒)「生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」 91%
3カ年を通して、人権教育の計画を立て実施していること。また、今年は外部講師を招いての人権教育の講話を実施したことが今回の結果に表れている。
- ・(生徒)「困ったことや悩みがある時、相談できる先生がいる」69%
目標の 70%以上を維持するに対して、1ポイント足りない。相談できる雰囲気づくりを心掛け、努力を継続する。

◎学校運営

- ・(保護者)「守口東高校の校長、教職員は学校をより良くしようと頑張っている」 82%
目標の 75%に対して、上回ることができた。男子バスケットボール部が中心となり、地域の中学生を対象にバスケットボール大会を開催。また、本校の芸術科の教諭が主となり、地域の小学校の保護者と小学生を対象に地域交流の場として「工芸」の授業体験を行った。これらのことが数値に表れてる。
- ・(保護者)「ホームページや携帯メールマガジンで学校の様子がよく分かる」 70%
目標の 75%以上に対して、下回る結果であった。今年度の web ページの更新回数は目標 130 回以上に対して、168 回と目標を上回っており、学校としてはまめに更新をしている。わかりやすい情報発信をしているつもりであるが、保護者の側からすると目標には届かない状況である。これに対して、来年度にホームページのリニューアルを進める予定である。